

令和7年度新規就農者数について

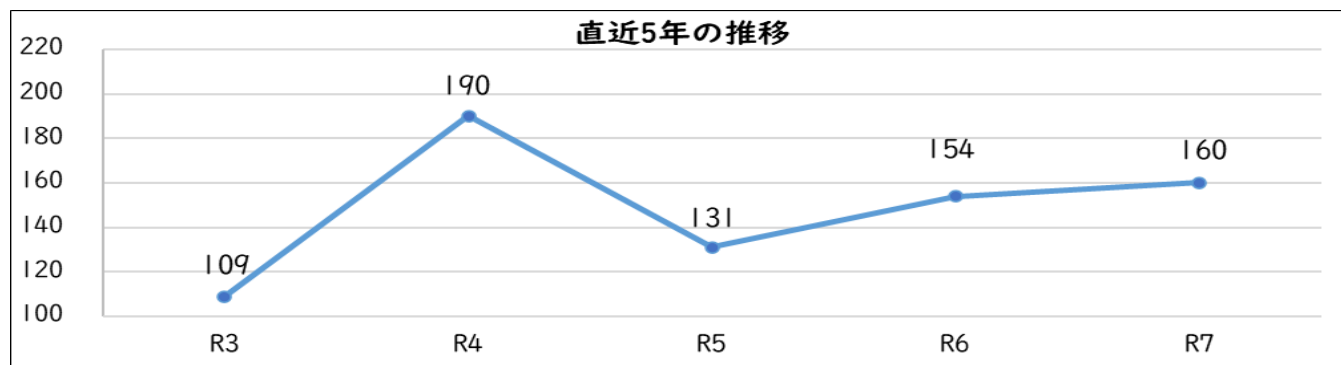
令和8年8月21日
宮城県農政部農業振興課

1 調査対象

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの期間に、新たに就農した15歳以上65歳未満の者

2 調査結果

(1) 令和7年度新規就農者数 **160人**

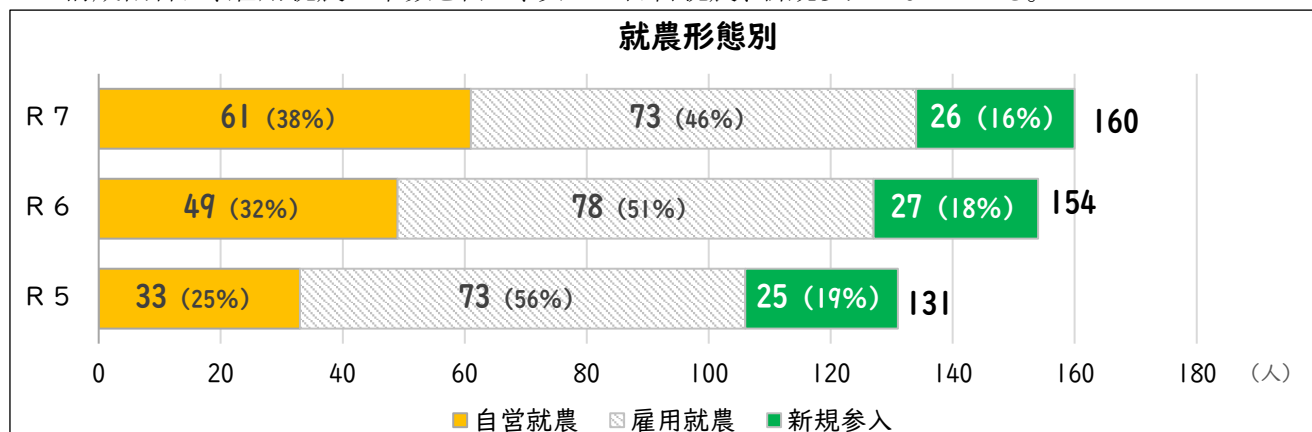


(2) 内訳

① 就農形態別

前年差は、自営就農は+12人、雇用就農及び新規参入は減少している。

構成割合は、雇用就農が半数を占め、次いで自営就農、新規参入となっている。



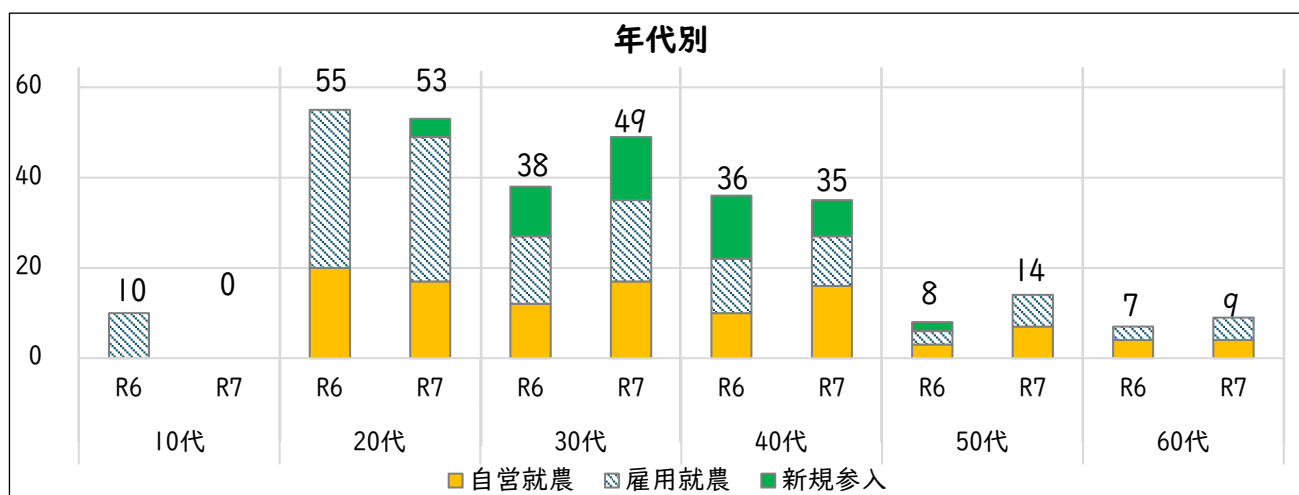
雇用就農: 農業法人等で雇用されて就農した者(パート等の非正規雇用は除く)

新規参入: 土地や資金を独自に調達し、新たに農業経営を開始した者

② 年代別

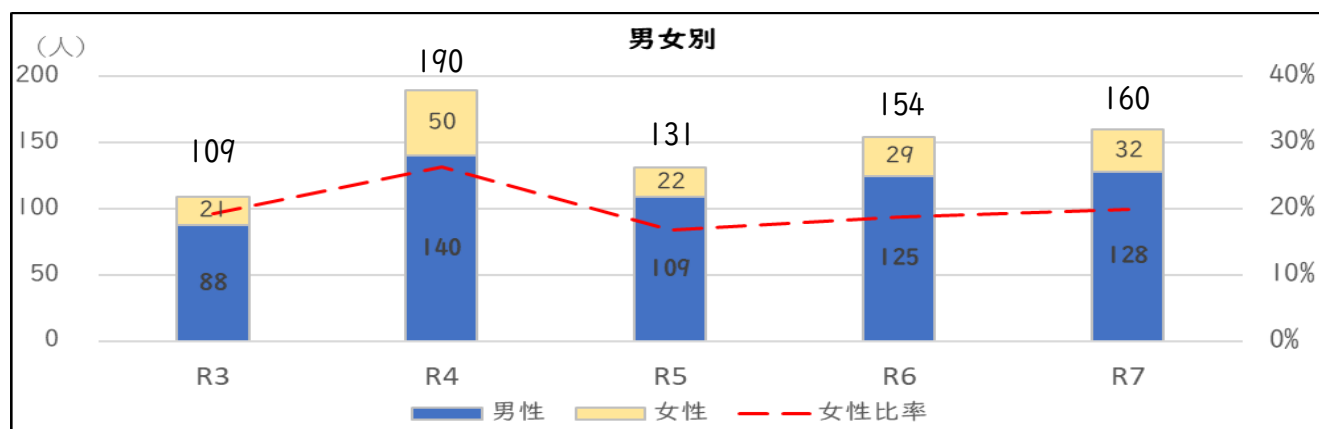
20代が最も多い。増加幅は30代が+11人と最も大きく、50代も+6人と増加した。

その他は60代が若干増加したが、ほぼ昨年並みであった。



③ 男女別

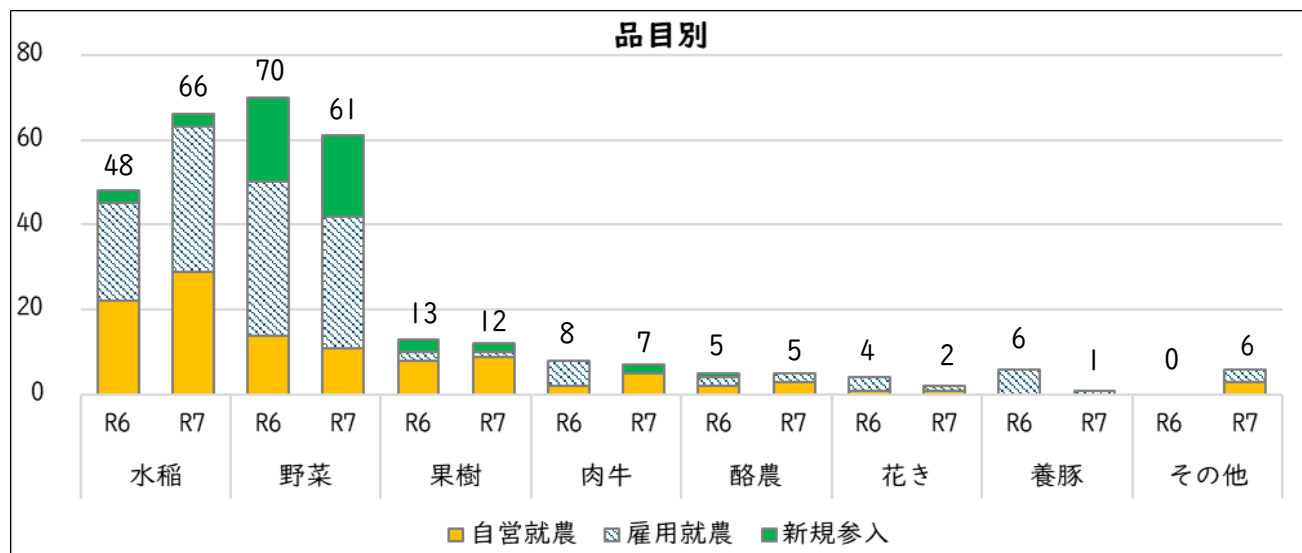
女性が3人増加し、女性比率は19%から20%に増加した。



④ 品目別

増加幅は水稻が+18人と最も多く、他の品目は昨年並みとなっている。

水稻作では新規参入が少なく、自営、雇用の増加が著しい。



⑤ 地域別

仙台で+10人、美里で+8人など、5地域で増加した。

